

現場説明書（技術的事項）

工事名 富谷公園便所解体工事

1. 現場の状況

本施設は、芦田貯留槽（以下、貯留槽）に隣接しており、工事期間中は、し尿・浄化槽汚泥の投入及び汲み取り業務を行っています。

し尿・浄化槽汚泥の投入及び汲み取り業務は、月曜日から金曜日の午前8時～午後16時頃までです。

2. 留意事項

- (1) 工事期間中は、第三者等の安全確保に細心の注意を払うとともに、必要な対策を講じてください。
- (2) 工事に伴う施設の利用は最小限にとどめてください。また、工事で既存建物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。なお、損傷を与えた場合は受注者負担により速やかに復旧してください。
- (3) 工事箇所に隣接した貯留槽では、し尿・浄化槽汚泥の投入及び汲み取り作業車の往来があり、業務を優先させる必要があるため、工事の計画については、監督員及び貯留施設管理者と事前に協議を行ってください。
- (4) 騒音・振動作業等は、監督員及び貯留施設管理者と事前に協議を行ってください。
- (5) 工事車両等の乗り入れ及び駐車位置は、監督員及び貯留施設管理者と事前に協議を行ってください。
- (6) 敷地内の作業範囲については適切な養生を行ってください。
- (7) 実施工程表は、契約後14日以内に提出してください。その際、作業工程は監督員及び施設管理者と十分に協議調整の上、作成してください。また、施工計画等の承諾は速やかに受けてください。
- (8) 本工事の受注者は、地元企業又は地場製品の活用に努めてください。

3. 別途工事

給排水設備工事

4. 工事における「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」ロゴの標示について

「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」が 2025 年 5 月 18 日から 24 日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。

5. 法定外の労災保険の付保について

本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。

富谷公園便所解体工事

図 面 リ ス ト	
番号	図 面 名 称
共-00	表紙・図面タイトル
共-01	解体工事特記仕様書(1)
共-02	解体工事特記仕様書(2), 附近見取図
A-01	解体前 配置図
A-02	解体後 配置図
A-03	平面図, 立面図, 基礎伏図, 部分詳細図

福山市建設局建築部営繕課			発注 2023年 11月	
主務	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

A2 : 100%
A3 : 71%

解体工事特記仕様書

Table with 2 columns: Item (I 工事概要), Detail (1. 工事名称, 2. 工事場所, etc.)

Table with 2 columns: Item (II 建築工事仕様), Detail (1. 共通仕様, 2. 特記仕様)

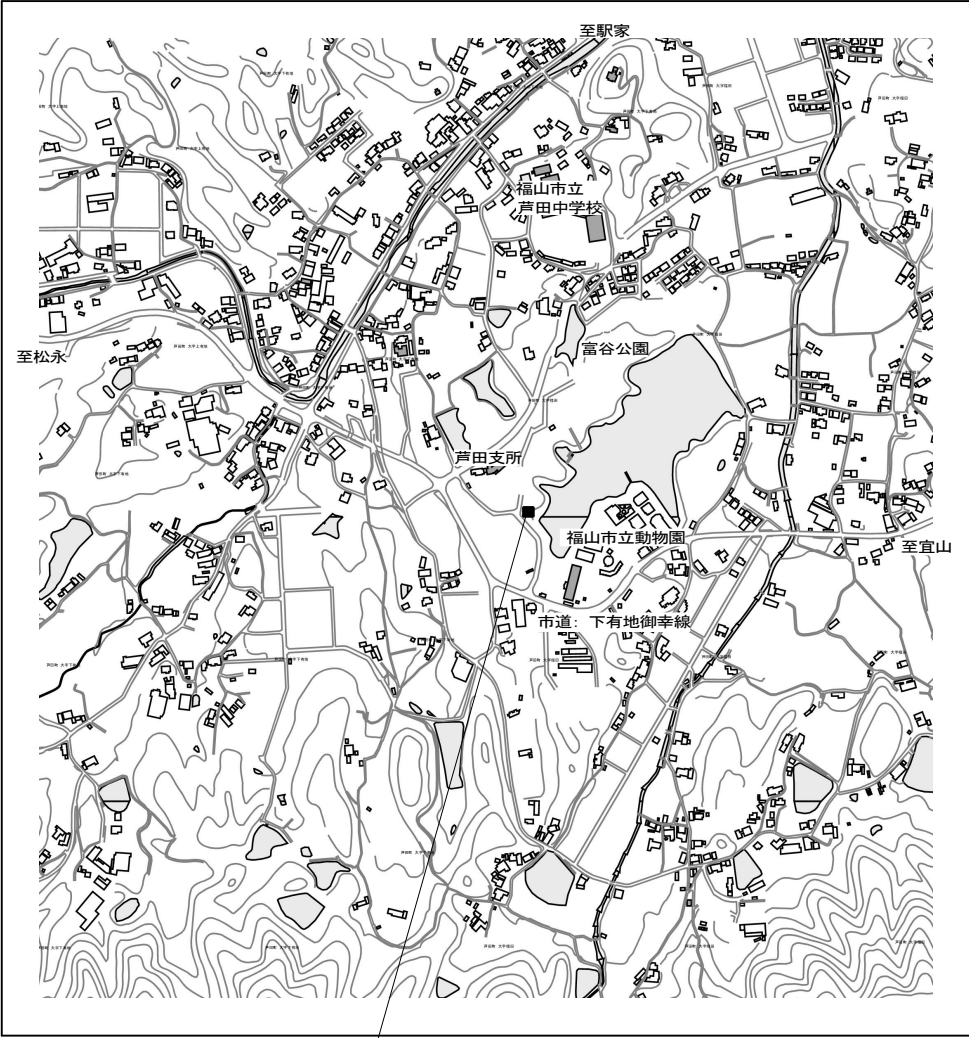
Main specification table with columns: Item, Detail, Remark

Table with 2 columns: Item (1, 2, 3), Detail (特記事項)

Table with 2 columns: Item (1, 2, 3, 4, 5), Detail (特記事項)

Table with 2 columns: Item (4, 5, 6, 7, 8), Detail (特記事項, including tables for handling methods)

項	特記事項	項	特記事項									
5 石綿含有建材の除去及び処理	<p>⑤除去物の処理 ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化</p> <p>3) 除去工法 ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所 ()</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①除去した石綿含有吹き付け材等を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所 () 運搬距離 () 受入条件 (※平日受入) ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。</p> <p>②石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。</p> <p>5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 ④養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ⑤壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑥養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体搬出する。 ⑦床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理等を行う。 ⑨後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。</p>	<p>化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの発散を防止する。 ③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 6 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。 ① 埋立処分 (安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。</p> <p>5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。</p>										
5 石綿含有保温材等の除去 (6.4.1~6.4.4)	<p>1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有保温材等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等 ①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生 (負圧不要) を行う。 ②作業場の隔離 (・ 行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落とし・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。 3) 作業場の隔離を行う場合は、4 2) を適用する。 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による除去物の処理 (※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化)</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。</p> <p>5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。</p>	石綿含有保温材等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	
石綿含有保温材等の仕様	使用部位											
・	・											
・	・											
・	・											
・	・											
6 石綿含有成形板等の除去 (6.5.1~6.5.4)	<p>1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。</p> <p>3) 除去工法 ①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生 (負圧不要) を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ○ 石綿含有石膏ボード ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ○ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ○ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。</p> <p>5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。</p>	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	
石綿含有成形板等の仕様	使用部位											
・	・											
・	・											
・	・											
・	・											
7 石綿含有仕上塗材 (下地調整塗材含む) の除去	<p>1) 処理を行う石綿含有仕上塗材 (下地調整塗材含む) の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生 (負圧不要) を行う。</p> <p>3) 除去工法 (施工場所 : ※ 図示) ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤</p>	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位											
・	・											
・	・											
・	・											
・	・											



工事場所：福山市戸田町福田7268番地

付近見取図 S=NO SCALE

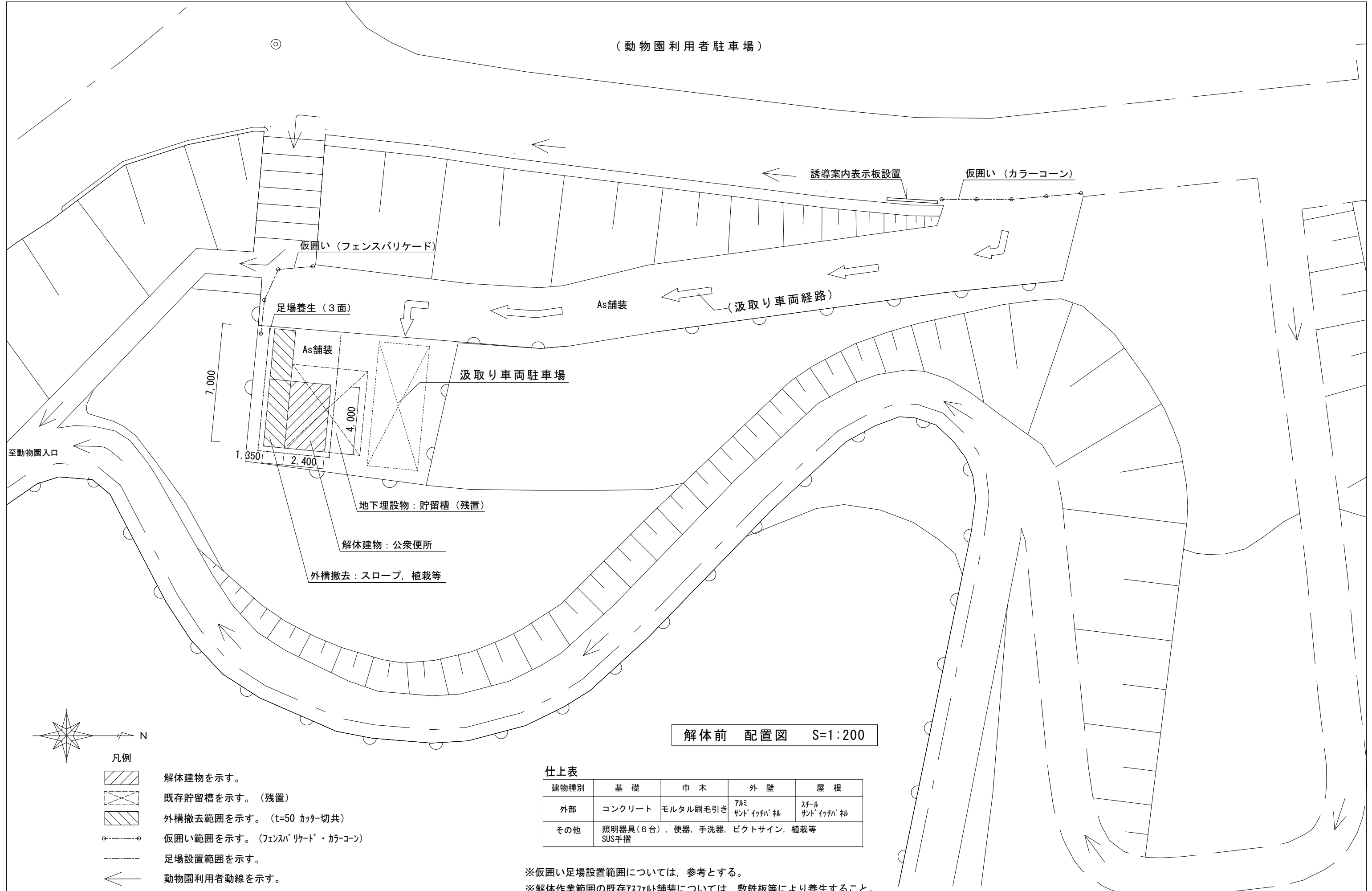
解体建物概要

建物名	構造	面積	備考
富谷公園便所	軽量鉄骨造	9.60㎡	外構、植栽の撤去含む

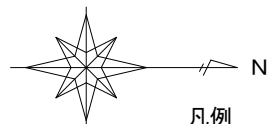
注記

- ・ 解体建物は貯留施設に隣接し、平日は汲取り等作業があります。
- ・ 解体建物下部に貯留槽があります。解体作業には十分注意し残置してください。
- ・ 雨水排水管、給水管は全て撤去・処分すること。
- ・ 電気設備、機械設備 (アンテナ、外灯含む) は全て撤去・処分すること。
- ・ 残置する範囲は鉄板敷き等により養生すること。
- ・ 既設取合のある配管は切断の上フランジ止めすること。
- ・ 量水器は残置すること。
- ・ 敷地内の植木、草花、雑草等も全て撤去・処分すること。
- ・ 敷地周辺の水路、排水溝に放流している配管を撤去した開口部はモルタル等で補修のこと。
- ・ 工事用車両により全面道路に泥を持ち出さないよう対策を講ずること。
- ・ 敷地内の、特記なき残置物等は全て残置とする。
- ・ 工事期間中はバリケード等で立入禁止措置を設ける、歩行者等の安全に留意すること。
- ・ 解体作業前に仮囲い等を設置し、敷地内利用に影響がない様注意すること。
- ・ 足場組立・解体時・廃材搬出時等、必要に応じて誘導員を配置すること。

(動物園利用者駐車場)



解体前 配置図 S=1:200

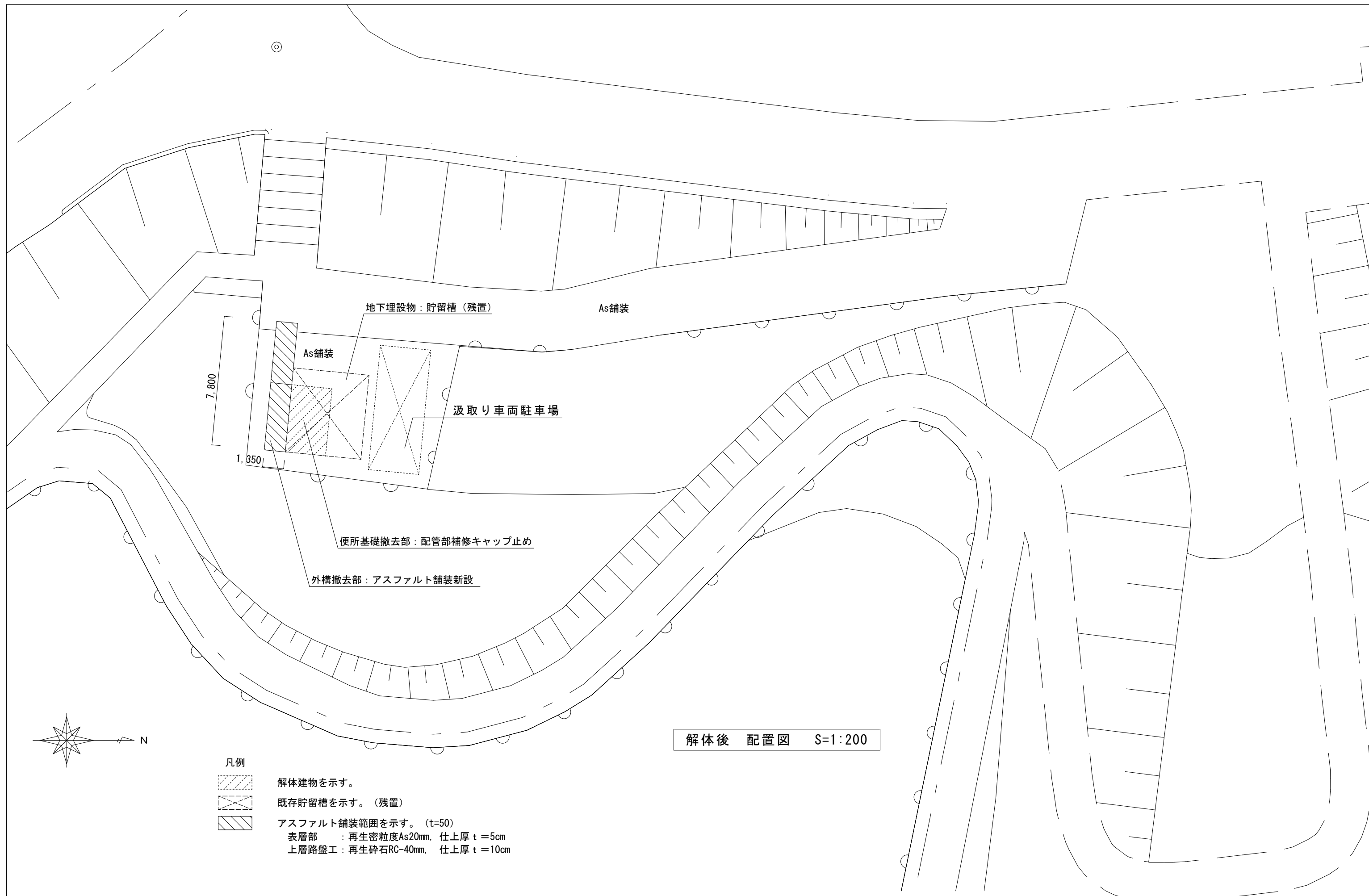


- 凡例
- 解体建物を示す。
 - 既存貯留槽を示す。(残置)
 - 外構撤去範囲を示す。(t=50 カッター切共)
 - 仮囲い範囲を示す。(フェンスバリケード・カラーコーン)
 - 足場設置範囲を示す。
 - 動物園利用者動線を示す。




仕上表

建物種別	基礎	巾木	外壁	屋根
外部	コンクリート	モルタル刷毛引き	アルミサントイッチハ [®] 裨	スチールサントイッチハ [®] 裨
その他	照明器具(6台)、便器、手洗器、ピクトサイン、植栽等 SUS手摺			

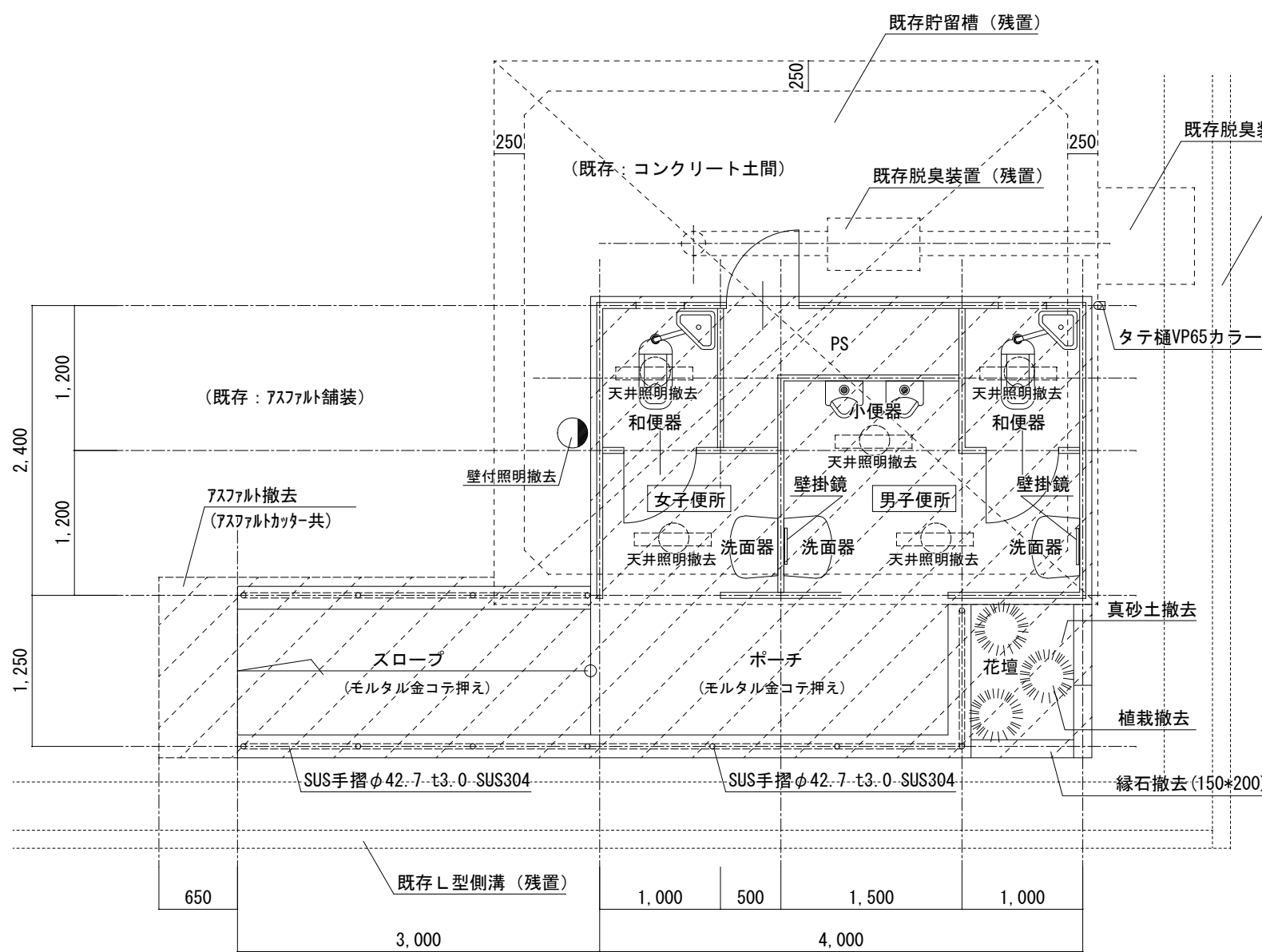
※仮囲い足場設置範囲については、参考とする。
 ※解体作業範囲の既存アスファルト舗装については、敷鉄板等により養生すること。



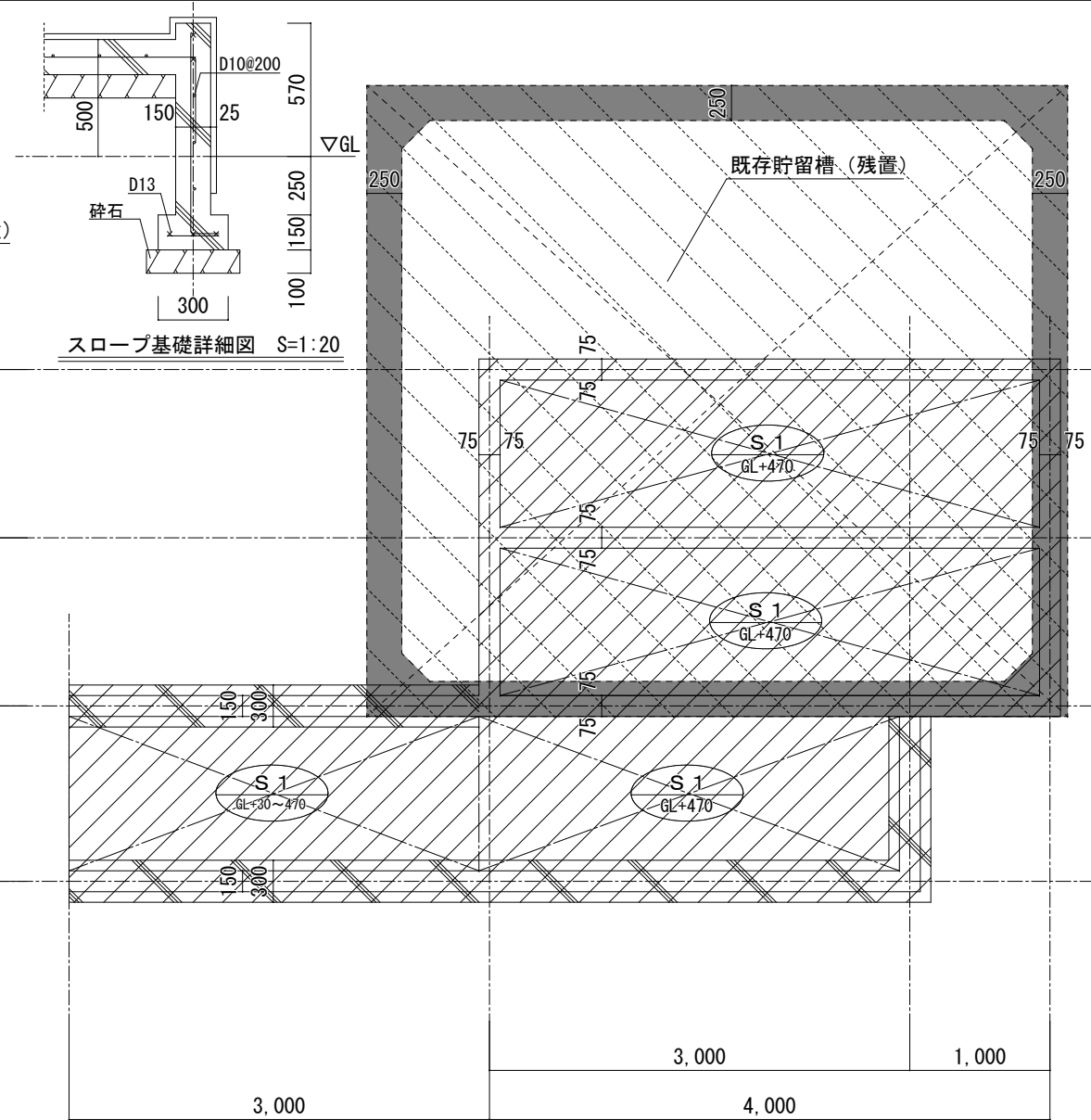
解体後 配置図 S=1:200

- 凡例
-  解体建物を示す。
 -  既存貯留槽を示す。(残置)
 -  アスファルト舗装範囲を示す。(t=50)
 表層部 : 再生密粒度As20mm, 仕上厚 t =5cm
 上層路盤工 : 再生碎石RC-40mm, 仕上厚 t =10cm

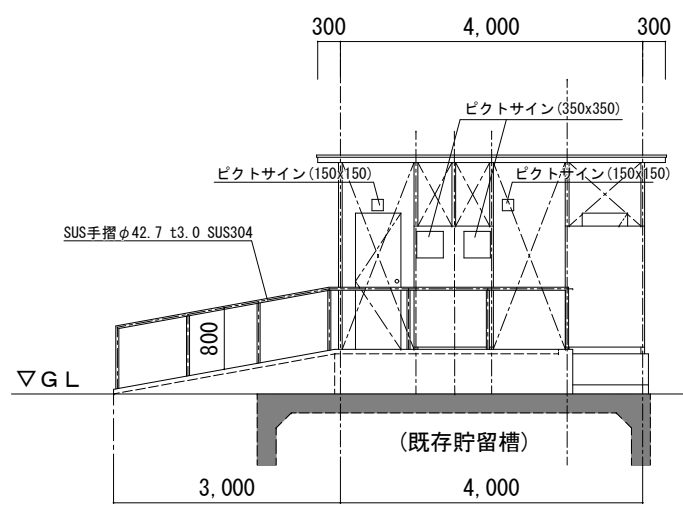
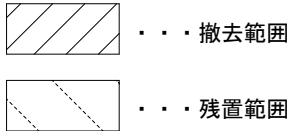
		工事名称 富谷公園便所解体工事	A2判 50% A3判 100%	福山市建設局建築部営繕課	図面No
		図面名称 解体後 配置図	縮尺 S=1/200	2023年 11月	A-02



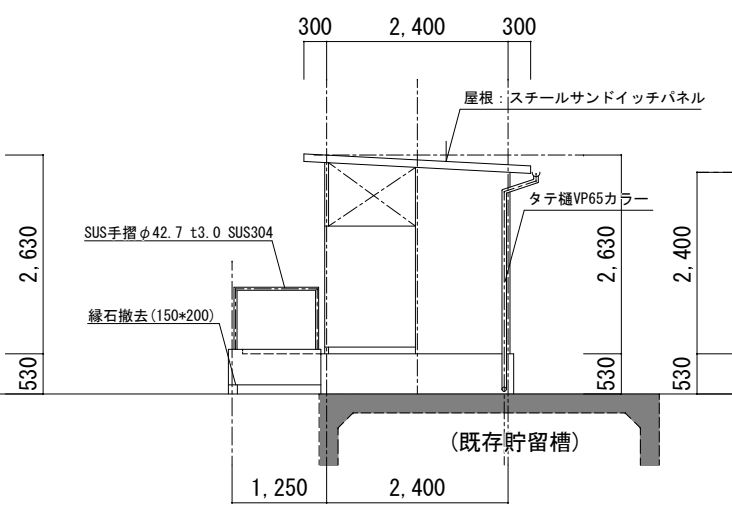
平面図 S=1:50



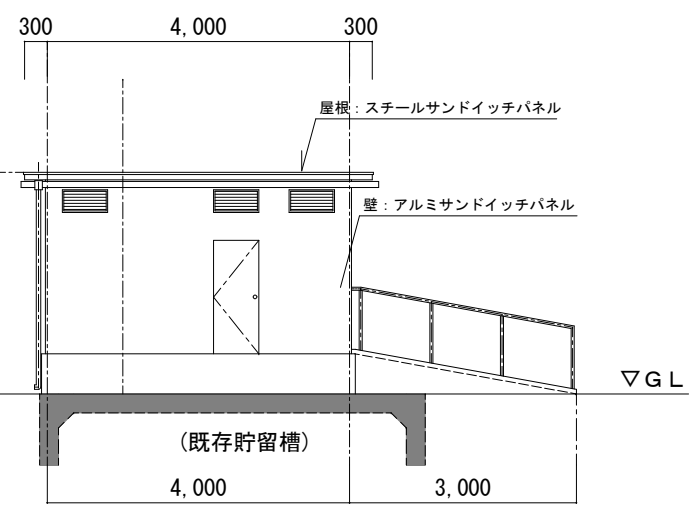
基礎伏図 S=1:50



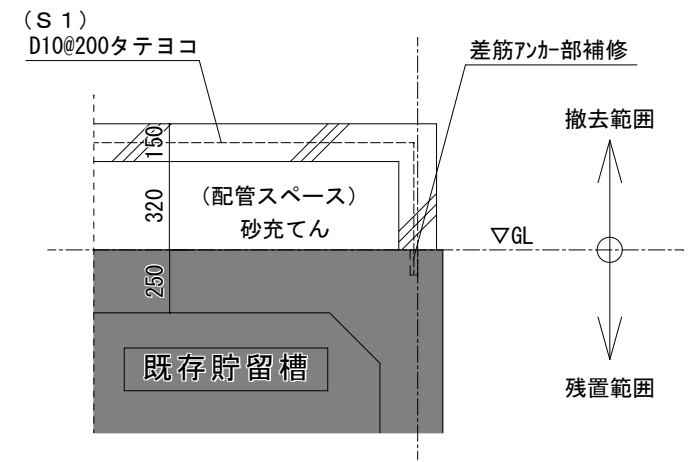
南立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100



基礎断面詳細 S=1:30

工事名称 富谷公園便所解体工事		A2判 50% A3判 100%	福山市建設局建築部営繕課	図面No A-03
図面名称 平面図, 立面図, 基礎伏図, 部分詳細図		縮尺 S=1/100	2023年 11月	

参考数量書

§ 工事名称 富谷公園便所解体工事

§ 工事場所 福山市芦田町福田7268番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

内 訳 書

工事名称 富谷公園便所解体工事
工事場所 福山市芦田町福田7268番地

【解体建物概要】
便所：軽量鉄骨造 平家建 延べ面積 9.60㎡

【その他構造物他】
外構、雨水排水、植栽等

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
解体工事		1		式				
外構工事		1		式				
	計							

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
便所	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
外構	1	式		
計				

便所						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
とりこわし		1		式		
発生材処理		1		式		
計						

外構									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
外	構		1		式				
発	生		1		式				
	計								

便所					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
とりこわし	建物	1	式		
とりこわし	設備	1	式		
とりこわし	電気	1	式		
とりこわし	外構	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

外構					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外構		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

便所 直接仮設						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0001
災害防止		1	式			別紙 00-0003
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	一般 -	25.6	㎡			
計						

便所		とりこわし			建物	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建物基礎解体						
便所基礎解体	有筋 手こわし解体 積込共	2.8	m ³			
スロープ解体	土間部 厚100~150 大型ブレード 圧砕機併用 積込み・鉄筋分別共	1.8	m ³			
土間コンクリート カッター入れ	アスファルト面	5.8	m			
既存貯留槽土間 モルタル補修	切断鉄筋錆止め共	1	式			
砂撤去	積込共	5.3	m ³			
建物上屋解体						
S造建物上屋解体	鉄骨カッター主体 軽量級 積込み共	9.6	m ³			
内部造作解体	積込み・分別含む	9.6	m ³			
とりこわし機械 運転(ヘースマシン)	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型 0.13m ³	1	運転日			
とりこわし機械 運搬 (ヘースマシン, バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m ³	1	往復			
縁石撤去		1	式			
計						

便所		とりこわし		設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械設備撤去		1	式			別紙 00-0007
計						

便所	とりこわし			電気		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電気設備撤去		1	式			別紙 00-0011
計						

便所		とりこわし			外構		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
植栽撤去		1	式			別紙 00-0009	
計							

便所		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積み込み	コンクリート類 機械	4.6	m ³			
積み込み	内装材等	2.7	m ³			
とりこわし発生材運搬	有筋コンクリート ダンプトラック 4t積	4.5	m ³			
とりこわし発生材運搬	無筋コンクリート ダンプトラック 4t積	0.1	m ³			
とりこわし発生材運搬	砕石、砂 ダンプトラック 4t積	5.3	m ³			
とりこわし発生材運搬	モルタル、がれき類 ダンプトラック 4t積	0.2	t			
とりこわし発生材運搬	産廃（一般） ダンプトラック 4t積	0.8	t			
とりこわし発生材運搬	廃プラスチック類 ダンプトラック 4t積	0.1	t			
とりこわし発生材運搬	鉄くず（スクラップ） ダンプトラック 4t積	1	式			
とりこわし発生材運搬	蛍光管	1	式			
計						

便所		発生材処理			処分	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
とりこわし 発生材処分	有筋コンクリート ダンプトラック 4t積	4.5	m ³			
とりこわし 発生材処分	無筋コンクリート ダンプトラック 4t積	0.1	m ³			
とりこわし 発生材処分	砕石、砂 ダンプトラック 4t積	5.3	m ³			
とりこわし 発生材処分	モルタル、がれき類 ダンプトラック 4t積	0.2	t			
とりこわし 発生材処分	産廃（一般） ダンプトラック 4t積	0.8	t			
とりこわし 発生材処分	廃プラスチック類 ダンプトラック 4t積	0.1	t			
スクラップ 控除	ステンレス(SUS304)	0.1	t			
とりこわし 発生材処分	蛍光管	1	式			
計						

外 構						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	小規模土工 -	1.3	m ³			
床付け	総掘り	8.8	m ²			
アスファルト舗装	A-5-10 再生密粒 再生クマツヤン 特に狭い場所 人力	8.8	m ²			
土工機械運転 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式 クローラ型 0.13m ³	1	運転日			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
土工機械運転 (振動ローラ)	- バンドガイド式 0.8~1.1t	1	運転日			
舗装機械運転 (アスファルトフィニッシャ)	2.0~4.5m	1	運転日			
舗装機械運搬 (アスファルトフィニッシャ)		1	往復			
計						

外構		発生材処理			運搬	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積み込み	発生土 機械	1.3	m3			
建設発生土運搬	砂質土・礫質土 ダンプトラック 4t積	1	式			
計						

外構		発生材処理			処分	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土処分	砂質土・礫質土	1	式			
計						

便所 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0001
単管一本足場	掛払い手間 10m未満 -	56.1	m ²			
単管一本足場	供用30日賃料 修理費含む 10m未満 -	56.1	m ²			
単管一本足場	基本料 修理費含む 10m未満 -	56.1	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0003
防音シート張り	掛払い手間 - -	56.1	m ²			
防音シート張り	供用30日賃料 修理費含む - -	56.1	m ²			
防音シート張り	基本料 修理費含む - -	56.1	m ²			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0004
仮設材運搬 (単管一本足場)		56.1	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		56.1	m ²			
計						

便所		とりこわし			設備	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
機械設備撤去		1	式			別紙 00-0007
和風便器撤去		2	か所			
小便器撤去		2	か所			
手洗洗面器撤去		3	か所			
大便器廻りユニット撤去	単水栓, 紙巻器	2	組			
鏡撤去	再使用しない	2	枚			
給水管撤去	ポリスチレン 地中埋設	1	式			
汚水管撤去	塩ビ管 100Φ 地中埋設	1	式			
配管キャップ止め	配管キャップ止め	1	式			
計						

便所		とりこわし			電気	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電気設備撤去		1	式			別紙 00-0011
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×1 再利用しない	6	個			
電気配線・配管 撤去		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
フェンスハ`リケート`設置	1,810×1,800mm	5.4	m			
カラーコーン設置		8	m			
交通誘導員	交通誘導警備員B	3	人			
仮設鉄板敷	供用60日賃料 敷鉄板 1524×6096×22mm 設置・撤去・運搬共	16	㎡			
計						